

科目名	保健	単位数	1 単位	学科・学年	1 年各科共通
使用教科書	現代保健体育（大修館書店）	副教材等	現代保健ノート（大修館書店）		
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。				
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。				
	①関心・意欲・態度	健康の保持増進に必要な事柄について関心を持ち、協力して資料を集めたり意見交換をしたりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしているか。			
	②思考・判断	健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他の人の意見や考え方を聞くなどして、課題の設定や解決方法を考え、判断できているか。			
	③知識・理解	健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択し、実践すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか。			
	評価方法\観点	①	②	③	
	学習状況観察	◎	○	○	
ペーパーテスト	○	○	◎		
対話・対面	○	◎	○		
課題レポート	○	◎	○		
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					

履修の注意	<p>・プリントや保健ノートのファイルは毎時間は必ず準備してください。・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及びファイルを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。</p>
-------	--

学期	月	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動 (評価方法)
1	4月～7月	私たちの健康のすがた 健康のとらえ方	12	健康の定義について理解させる。	教科書並びに副教材にそって学習する。意欲・関心・態度、思考・判断、知識・理解の3観点から評価する。定期試験・授業の観察・レポート提出・発表などを通じて評価する。
				健康にかかわる内的・外的要因について理解させる。	
				日本と世界の健康水準について理解させる。	
	様々な保健活動や対策 生活習慣病と日常生活の行動		様々な保健活動について理解させる。ヘルスプロモーションの理念を理解させる 生活習慣病について理解させる。		
	喫煙・飲酒・薬物乱用・医薬品と健康		喫煙・飲酒・薬物乱用に対する現状と対策を理解させる。		
2	9月～12月	感染症・エイズとその予防	15	現在問題となっている感染症について理解させる。エイズの実態や予防のための知識を持たせる。	
		健康にかかわる意志決定・行動選択 意志決定・行動選択に必要なもの		意志決定・行動選択の重要性・必要性を理解させる。	
		欲求と適応機制 心身相関とストレス		欲求の種類や、どのように欲求が生じるか理解させる。心身相関・ストレスについて理解させる。	
		ストレスへの対処 自己実現		ストレスについて対処法を理解させる。自己実現とは何か、達成する課程や条件を理解させる。	

3	<p>交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の資質 と責任 安全な交通社会づくり</p>	8	<p>交通事故の特徴や関係する要因 について理解させる。交通事故 を起こした場合の責任や補償に ついて理解させる。安全な交通 社会のための方策や車両の安全 装置について理解させる。</p>
	<p>応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当</p>		<p>応急手当の意義や手順について 理解させる。心肺蘇生法の原理 や手順について理解させる。</p>